

暴虐 支那人怪漢

我歩哨兵に斬付く

重傷を負はせ逃走を企てたが
犯人は直ちに逮捕

〔北平廿日發國通至急報〕 本朝午前九時半頃、北平市交民巷の日本兵營裏門より兵營内に突入し、歩哨兵を制し、重傷を負はせ、逃走を企てたが、犯人は直ちに逮捕された。歩哨兵は重傷を負はせ、逃走を企てたが、犯人は直ちに逮捕された。歩哨兵は重傷を負はせ、逃走を企てたが、犯人は直ちに逮捕された。

我歩哨傷害事件で

天津の空氣も俄然緊張

〔天津廿日發國通〕 至急報、我歩哨傷害事件のため、天津の空氣も俄然緊張した。歩哨兵は重傷を負はせ、逃走を企てたが、犯人は直ちに逮捕された。歩哨兵は重傷を負はせ、逃走を企てたが、犯人は直ちに逮捕された。

陰惨な空氣に

包まれた天津

住民續々外國租界に避難

〔天津廿日發國通〕 昨夜の事件、天津の空氣も俄然緊張した。住民は續々外國租界に避難した。住民は續々外國租界に避難した。住民は續々外國租界に避難した。

日英佛租界は

避難民で満員

借家旅館は四五倍に値上

〔天津廿日發國通〕 天津の避難民は、日英佛租界に避難した。借家旅館は四五倍に値上した。避難民は日英佛租界に避難した。借家旅館は四五倍に値上した。

通州方面大混亂

住民敗兵の掠奪を恐れ避難
〔天津廿日發國通〕 通州方面は大混亂だ。住民は敗兵の掠奪を恐れ、避難した。通州方面は大混亂だ。住民は敗兵の掠奪を恐れ、避難した。

米國へ警告す

滿洲問題に就き

記者ナサニール・ベッファの論説
自由主義と米國の義務、滿洲問題に就き、記者ナサニール・ベッファの論説。自由主義と米國の義務、滿洲問題に就き、記者ナサニール・ベッファの論説。

滿洲國軍先鋒

遂に塘坊に達す

何桂軍軍官放棄を準備
〔天津廿日發國通〕 滿洲國軍先鋒は、塘坊に達した。何桂軍軍官は放棄を準備した。滿洲國軍先鋒は、塘坊に達した。何桂軍軍官は放棄を準備した。

北平へ々々々々

自動車部隊が急追

〔天津廿日發國通〕 北平へ々々々々、自動車部隊が急追した。北平へ々々々々、自動車部隊が急追した。北平へ々々々々、自動車部隊が急追した。

敗敵なほも

熱河侵入の機を窺ふ

〔天津廿日發國通〕 敗敵なほも、熱河侵入の機を窺ふ。敗敵なほも、熱河侵入の機を窺ふ。敗敵なほも、熱河侵入の機を窺ふ。

小村大將

第一艦隊司令官

〔東京廿日發國通〕 小村大將、第一艦隊司令官に就任した。小村大將、第一艦隊司令官に就任した。小村大將、第一艦隊司令官に就任した。

首相園公を訪問

時局安定の熱意を披露

〔東京廿日發國通〕 首相園公を訪問し、時局安定の熱意を披露した。首相園公を訪問し、時局安定の熱意を披露した。首相園公を訪問し、時局安定の熱意を披露した。

在哈白系露人

ホルワツト一派を

〔ハルビン廿日發國通〕 在哈白系露人、ホルワツト一派を。在哈白系露人、ホルワツト一派を。在哈白系露人、ホルワツト一派を。

活氣があるね

大洲滿洲東京支店長語る

〔東京廿日發國通〕 大洲滿洲東京支店長語る、活氣があるね。大洲滿洲東京支店長語る、活氣があるね。大洲滿洲東京支店長語る、活氣があるね。

五月中旬

十六港外國

貿易概算
〔東京廿日發國通〕 五月中旬、十六港外國貿易概算。五月中旬、十六港外國貿易概算。五月中旬、十六港外國貿易概算。

和洋家具製作販売

幸昇號

家修繕諸工請負
〔東京廿日發國通〕 幸昇號、家修繕諸工請負。幸昇號、家修繕諸工請負。幸昇號、家修繕諸工請負。

草履のシーズン

小林履物店

訪れまし
〔東京廿日發國通〕 草履のシーズン、小林履物店。草履のシーズン、小林履物店。草履のシーズン、小林履物店。

最上白米

今田商店

特等醬油
〔東京廿日發國通〕 最上白米、今田商店。最上白米、今田商店。最上白米、今田商店。

ピストル消火器

一組拾五圓

非常時御使用ノ際ハ藥筒無代進呈
〔東京廿日發國通〕 ピストル消火器、一組拾五圓。ピストル消火器、一組拾五圓。ピストル消火器、一組拾五圓。

熊平商行

非常時御使用ノ際ハ藥筒無代進呈

〔東京廿日發國通〕 熊平商行、非常時御使用ノ際ハ藥筒無代進呈。熊平商行、非常時御使用ノ際ハ藥筒無代進呈。熊平商行、非常時御使用ノ際ハ藥筒無代進呈。

突如!! オール新京を壓倒する

美の殿堂、人生の樂園

カフエー白馬出現!!
〔東京廿日發國通〕 突如!! オール新京を壓倒する。美の殿堂、人生の樂園。カフエー白馬出現!!

白馬に求められ

CAFE 白馬

〔東京廿日發國通〕 白馬に求められ、CAFE 白馬。白馬に求められ、CAFE 白馬。白馬に求められ、CAFE 白馬。

人事往來

長崎郵務司

〔東京廿日發國通〕 人事往來、長崎郵務司。人事往來、長崎郵務司。人事往來、長崎郵務司。

五月中旬

十六港外國

貿易概算
〔東京廿日發國通〕 五月中旬、十六港外國貿易概算。五月中旬、十六港外國貿易概算。五月中旬、十六港外國貿易概算。

在哈白系露人

ホルワツト一派を

〔ハルビン廿日發國通〕 在哈白系露人、ホルワツト一派を。在哈白系露人、ホルワツト一派を。在哈白系露人、ホルワツト一派を。

活氣があるね

大洲滿洲東京支店長語る

〔東京廿日發國通〕 活氣があるね、大洲滿洲東京支店長語る。活氣があるね、大洲滿洲東京支店長語る。活氣があるね、大洲滿洲東京支店長語る。

首相園公を訪問

時局安定の熱意を披露

〔東京廿日發國通〕 首相園公を訪問し、時局安定の熱意を披露した。首相園公を訪問し、時局安定の熱意を披露した。首相園公を訪問し、時局安定の熱意を披露した。

在哈白系露人

ホルワツト一派を

〔ハルビン廿日發國通〕 在哈白系露人、ホルワツト一派を。在哈白系露人、ホルワツト一派を。在哈白系露人、ホルワツト一派を。

活氣があるね

大洲滿洲東京支店長語る

〔東京廿日發國通〕 活氣があるね、大洲滿洲東京支店長語る。活氣があるね、大洲滿洲東京支店長語る。活氣があるね、大洲滿洲東京支店長語る。

首相園公を訪問

時局安定の熱意を披露

〔東京廿日發國通〕 首相園公を訪問し、時局安定の熱意を披露した。首相園公を訪問し、時局安定の熱意を披露した。首相園公を訪問し、時局安定の熱意を披露した。

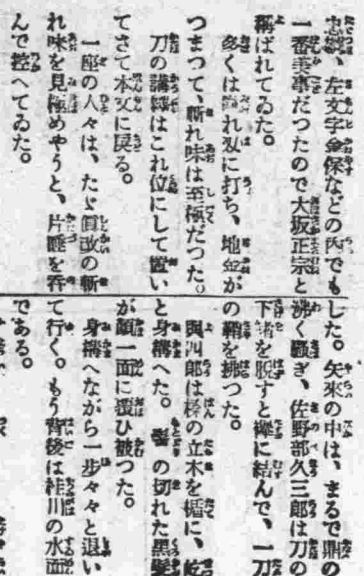
在哈白系露人

ホルワツト一派を

〔ハルビン廿日發國通〕 在哈白系露人、ホルワツト一派を。在哈白系露人、ホルワツト一派を。在哈白系露人、ホルワツト一派を。

香林先生

「財賄ひと云ふは、あられたるの『もつ』」
 半蔵が持つ「實録」あつた事が、唯
 「一」の御承りなり。財賄ひは普通、し
 ょくしをけし行つた。そして、
 ゼロ財賄ひと言は、數も相當に多
 かつたから、「實録」は佳品が少から
 ぬであつた。それによつて、ある種
 の「來札に似てゐる佐々良屋の代
 表者」が、半蔵の「一生の経歴は、こ
 の錢がたづねられ、



「うむ」

船が来たのか、音の響けは、三方に聞えて、水龍に頼んだ人庄田良兵衛門は打下すばかりになつた。

意気な？　偶然か？　奥で船の神槍を抜いた。――

良兵衛門は、「舟師の鯉の漣」を見た筈ならいししい。

【あつ】

不意にも作ったこの有様たる……

飛び出す気がかりと思ふ内に、刀刃を振りにはくると思ひ込んで、水中へ飛び込んだ。

興味が、水面に鎌をつけた。

「えい！……」と、庄田は打ち下つて、實任を洗つて、庄田は打ち下つた。一歩、元んた、四郎は番方へへばつかり浮上つた。小者の一人が、實任の感か、おびきまうした。

「あつ」
想はずも、一層の人々の口から、こんな實任が申し合したやうにこぼれた。

と言ふのは、その實任に驚かすだけの心算であるわ……」と、殿

電話二一三六。二一〇三

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行

×甲ハ一等船客御斷り門司

不寄港



 日二廿月五
 日八廿月

青板の鯛すき

アオヤギ
祝町鮮銀北横
電話三〇九〇番

內科 小兒科
 性病 痔疾科
 アヘン、モヒ
 ヘロイン中毒
 松本醫院
 入院隨意
 隨時往診應需
 日本橋通郵便局前
 電話三七五六番

水焚。スキ焼。鍋物類
 期ながキールミ
 刷新なるサビス鋼が
 カフエー
 ミカサ
 電話三四六八番
 御待ナ居マスマ

會席料理 曾我廼家
電話二五八八番

唸を生じて大評判
 不況を外に大發展
 緩かば焼トどんぶり
 三笠町二丁目
 食道樂
 御壽し
 仕出し
 青葉
 電話一九四二番

會席
御料理
富士町一丁目
蓼廼家
電話二五〇七番

(一)安神散 應山和泉寺代々の伝説秘劑
 (二)花柳病 皮膚病 神效萬病ヲマナシ、根病。
 五痔喉嚨白濁下 疳瘡便毒等一週間全服用すれば必
 ず全癒あり
 (三)アメー 本劑は性病予防秘薬にして諸種の性
 病諸病の消滅ナリ
 (四)五月二日産婆武田姉 を聘し開業致し
 まして親切丁寧に取り扱ひますから尙幸よろしく！
 新京帝國二丁目七
 公學校前
 吉光堂療院
 電話三七三六
 胃腸病特効藥
 下熱セキ止 肺
 炎の特効あり

美人揃ひの
美人樓
キヤピタルダンヌホール附
富士町二丁目二十六

御料理
梅月
新京三笠町三丁目
電話二七八四番

機煖術設
械房生計
工事請負業
北田
工紡所
新大阪野田
取次電話
二〇三五番

aji-no-moto-za

味の素

(商標)

商賣繁昌此の一手

ドシく使ふ可し
 ドシく美味いも
 のを食はせる可し

宮内省御用達 味の素本舗 鈴木商店